



## くるまのフロントガラスのうえが、あおくなっているのはなぜ

### まぶしさをふせたり、ひよけのため

くるまのフロントガラスを見ると、うえの方があおくなっているものがありますね。このようにガラスに色をつけているのは、たいようのひかりが強いときに、まぶしさをふせたり、ひよけのためにあるのです。

もともと、くるまのガラスには色がついていて、まぶしさをふせたり、ひよけのやくわりをするようになっています。こうきゆうしゃしゆになると、フロントガラスにあおいろをつけて、いっそうまぶしさをふせたり、ひよけのやくわりを増すようにしているのです。また、あのような色をつけることで、こうきゆうかんを出しているということもあります。

まちを走っているくるまをかんさつすると、ガラスにくるまのほんとうをはって、なかが見えないようにしているくるまがありますね。あれは、本当はやってはいけないことなのです。

### わ割れて飛び散らないようになっているガラス

くるまのガラスは、まいのガラスではなく、あわせガラスになっています。あわせガラスのちゆうかんには、あつさ0.76ミリメートルのまくはいっています。このちゆうかんまくがあると、ガラスが割れにくく、また、事故でくるまがぶつかったときに、ガラスの破片がまわりに飛び散ることがありません。さらに、くるまがしょうとつして、のっているひとのあたまがぶつかってガラスが割れても、ちゆうかんまくのぬのののっているひとのあたまをつつみこみ、うけとめてくれるので、おお大けがをしないですみます。その上、うえのくるまのそとからと飛びこんでくるものがあったとしても、ガラス窓をまどやぶつらぬくのふせを防ぐことができます。(監修・青木 国夫)

